

立教大学 社会デザイン研究所 主催

劇場法対応、ホール設備デジタル化、建替・大規模改修



劇場法の要請にこたえる、公共劇場スタッフのための社会デザイン力養成講座
— 地域コミュニティ、共生社会、絆を生み出す場所と事業のマネジメントを学ぶ —

公共ホールの つくりかたを学ぶ

受講生
募集

平成26年度 文化庁
大学を活用した文化芸術推進事業



劇場法の制定により、公共劇場はこれまで以上に社会的な役割を担うことが期待されています。ホール設備機器全般のデジタル化が進行する中で、全国で多くの施設が建替えの時期を迎えているいま、この要請に、事業運営の現場と、施設ハードづくりの現場はどう応えてゆけばよいか。

夏の講座と冬のワークショップを通じて、「社会デザイン」や「ハードマネジメント」など、新たな視点から公共劇場を考えます。

社会デザインのアカデミックな研究と実践ノウハウの蓄積をもつ立教大学社会デザイン研究所が、公共劇場の先駆的な実務家、建築関係者と共につくる集中講座です。みなさまのご参加をお待ちしています。

〈夏期集中講座〉 2014年7月31日(木)～8月3日(日)
会場：立教大学、座・高円寺

〈冬期集中講座〉 2015年2月5日(木)～2月8日(日)
会場：いわき芸術文化交流館アリオス

主 催：立教大学 社会デザイン研究所
協 力：NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺
いわき芸術文化交流館アリオス
あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
久留米シティプラザ ※平成28年開館予定
募 集 定 員：各30名 ※定員に達し次第、募集を締め切ります

受講対象者：これからの公共劇場に関心をもつ制作者、自治体職員、建築家など
受 講 料：夏期集中講座(全9講座) 13,500円
冬期集中講座(全12講座) 18,000円
※夏期・冬期連続受講を原則とします
※8月3日(日)シンポジウム、
2月8日(日)発表およびディスカッションは入場無料、申込み不要
※講座参加にかかる移動費・宿泊費は参加者でご負担ください
申 込 方 法：お名前・所属・ご連絡先を明記の上、
メール又はファックスにてお送りください
申込・問合せ：立教大学 社会デザイン研究所(川口、高地)
Mail◎hall-koza@rikkyo.ac.jp
Tel◎03-3985-4893 / Fax◎03-3985-4725

青島 琢治 (建築家、東京理科大学非常勤講師、座・高円寺設計従事者)
 石川 治江 (立教大学特任教授)
 伊藤 裕夫 (立教大学兼任講師)
 大石 時雄 (いわき芸術文化交流館アリオス支配人)
 片山 正夫 (立教大学特任教授、公益財団法人セブン文化財団常務理事)
 齊藤 義 (建築家、環境デザイン研究所所長、いわきアリオス施設設備総合監修)

佐藤 信 (杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」芸術監督)
 高宮 知数 (立教大学社会デザイン研究所研究員)
 中村 陽一 (立教大学教授、社会デザイン研究所所長)
 西田 司 (建築家、東北大学非常勤講師)
 山崎 哲史 (演出家、表現教育ファシリテーター)
 ヲザキ 浩実 (あうるすぽっとチーフプロデューサー)



中村 陽一

2012年の劇場法施行により、いわゆる公共ホールは、「人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点」、「地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能」を持つ場として、「必要な人材の養成を行うこと」、「地域社会の絆の維持及び強化を図るとともに、共生社会の実現に資するための事業を行うこと」が積極的に求められることとなりました。図書館や博物館同様、専門性を持ったスタッフが事業を行い、地域文化を担う存在と規定されたわけです。公共劇場が、地域の社会デザイン、コミュニティデザインの拠点をめざす時代の幕開けとっていいと思います。

そもそもdesignとは、製品やサービスの単なる設計やきれいな絵を描くことに留まるものではありません。それは、社会の仕掛けや仕組みを大胆に組み替えていくことであり、私たちはそれを社会デザインと呼んできました。本講座で、そうした時代と社会の変化に答え得る魅力ある人「財」をめざしてみませんか？



佐藤 信

日本の劇場は、大きく3つの世代を経してきました。第1世代は所謂多目的ホールで、地方の文化会館です。基本的に集会所で、劇場機能は付加的なものでした。第2世代は専用ホールの時代。多目的から単目的になり、演劇専用の劇場もつくられました。第3世代は劇場でものをつくる時代で、プロが個性的な創造活動を行うために、競って高機能な劇場になっています。現在は公共劇場でも第3世代が主流になりつつありますが、市民参加のためのハードウェアについてはそれほど突っ込んだ考え方が熟してはいません。

プロと市民、どちらも満足して使える建物であることが、第4世代の劇場には求められています。そのための取り組みが、今回出来ればと思っています。

講座日程・内容

夏期集中講座

日時	会場	講座内容	
2014年 7月31日(木)	立教大学 池袋キャンパス 4151教室	【社会デザイン力養成講座】 各地の先駆的な事例を取り上げながら、“公共劇場”とは何か、その求められる役割について考えます。	
8月1日(金)			各日 13:15~18:10
8月2日(土)			座・高円寺 稽古場
8月3日(日)	13:00~16:00	立教大学 池袋キャンパス A203教室	【シンポジウム「明日の公共劇場を考える」】(入場無料) 社会デザインという視点からの公共劇場の事業の方向性、事業成功のための施設ハードマネジメントを踏まえ、公共劇場の新たな可能性を考えます。

冬期集中講座

日時	会場	講座内容	
2015年 2月5日(木)	いわき アリオス 中リハーサル室	【社会デザイン力養成ワークショップ】 いわきアリオスにてフィールドワークを行い、いわき市の文化やコミュニティ課題に対しての提案をまとめます。	
2月6日(金)			各日 13:00~18:00
2月7日(土)			【劇場ハードマネジメント力養成ワークショップ】 同劇場の建築プロジェクトを題材にして、ケーススタディ・ワークショップをおこないます。
2月8日(日)	9:00~17:00 (発表は15:00~)	いわき アリオス 小劇場	【演劇ワークショップ&市民ディスカッション「公共劇場のつくりかた」】 (発表・ディスカッションは入場無料) フィールドワーク、ケーススタディ・ワークショップでの発見をまとめ「劇場づくり」をテーマに演劇作品形式で発表します。